

「長生炭鉱の遺骨発掘を国に要請する」と県議会で言明！！ 国際親善と人権の課題として 超党派のとりくみをめざそう！！

去る9月27日、山口県議会にて、「刻む会」運営委員の一人でもある、佐々木あけみ県議が長生炭鉱の遺骨問題について質問し、山口県から遺骨収集に向けて前向きな答弁を得ることが出来ました。

(山口県の答弁の内容は以下のとおり)

「長生炭鉱問題についてのお尋ねにお答えします。

お示しの長生炭鉱の水没事故において、多くの方々が亡くなられたことは大変痛ましく、改めまして、犠牲者の方々に哀悼の意を表します。

県では、これまで、「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の皆様などからのご要望に対し、日韓友好親善と人道上の立場から、犠牲者の方々の身元確認などへの協力を行ってまいりました。

具体的には、平成3年に、「刻む会」からのご要望を受け、「刻む会」が作成した犠牲者名簿を、韓国・慶尚南道へ送付し、身元照会を行った結果、58名の方々のご遺族が判明しました。

また、平成4年以降、毎年開催されている追悼式には、県からも出席し、犠牲者の方々のご冥福をお祈りしているほか、平成25年に建立された追悼碑については、多くの県職員が募金に協力したところです。

さらに、長生炭鉱を含む朝鮮半島出身の民間徴用者の遺骨の収集・調査については、国において、平成17年から開始されたところであり、県では、国に協力して、県内市町に幅広く情報提供を求めるなどの取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、お尋ねの海底の遺骨収集については、その調査も含め、進展がみられないことから、「刻む会」の皆様などからの「海底から遺骨を引きあげてほしい」とのご要望を受け、国に対しその旨を伝えているところです。

これに対して、国からは、「海底深くに水没し、正確な場所の特定ができないという技術的問題に加え、費用的にも海底の遺骨収集は、非常に難しい状況である」との趣旨の見解が示されております。

県としましては、引き続き、「刻む会」の皆様などからのご要望・ご意見を国に伝え、国による長生炭鉱犠牲者の方々への遺骨収集等が進むよう努めてまいります。

※追悼集会日程変更のお知らせ※

前回の『刻む会たより No.66』で追悼集会の日程を2018年2月3日(土)開催とお知らせしましたが、遺族会の都合により、**2018年1月20日(土)開催**に変更になりました。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

刻む会 たより

No.67

2017. 12. 5

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・内岡貞雄・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 01590732405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円 《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

http://www.chouseitankou.com

メール

kizamukai@chouseitankou.com

また、宇部市議会(9月12日)にて、荒川憲幸市議が長生炭鉱の問題について
 ①久保田市長の基本的考え方、②これまでの経緯と今後の取り組み について質問を
 してくださいました。

(宇部市の答弁は以下のとおり)

「本市の今日の発展はの礎は、明治期以降の石炭産業によって築されましたが、一方で、地下や海底で作業を行う炭鉱では、事故により多くの犠牲者を出してきた歴史があります。長生炭鉱においても、昭和17年に坑道内で異常な出水があり、坑内で働かされていた136名の朝鮮半島出身者を含む183名が犠牲になりました。長生炭鉱をはじめ、炭鉱事故により多くの方が亡くなられたことは大変痛ましく、犠牲者の方に哀悼の意を表します。

長生炭鉱に関しては、平成11年3月議会において、当時の花田議員から慰霊碑の建立について質問がありましたが、その後、市民団体である「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」が平成25年に慰霊碑を建立されました。この会は、遺骨の収集・返還やピーヤいわゆる通気口の保存、遺族への賠償等を目的として設立され、朝鮮半島の出身で犠牲になられた方々の遺族に寄り添った活動をされています。この会からの要望については、これまで誠意を持って30回以上にわたり協議を重ねてきましたが、残念ながらお互いの意見が相容れず、大きな進展がみられない状況です。これまでの要望のうち、遺族への賠償や遺骨の収集等については、国家間の問題として政府が対応している案件であるため、地方自治体が関与できないことと考えています。一方で、市としては、地方自治体が誠意をもって対応すべきこととして、毎年開催される追悼式に職員を出席させて哀悼の意を表するなど、可能な範囲で協力を行っているところです。

したがって、本市としては、この長生問題について、政府の方針や見解に従い、地方自治体という立場を踏まえて、多くの市民のご理解が得られるような形で、今後も引き続き、人道的な見地から取り組むとともに、ピーヤに関する説明板について、設置ができるように、協議を進めたいと考えています。」

これらの議会での取り組みを受け、超党派で、また日韓両国の協力のもと、一日も早い遺骨収集を実現していきましょう！
 今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします！

活動日誌(前回たより以降)

2017年

▽9月27日(水) 山口県議会にて一般質問

▽9月30日(土) 福岡県田川市鉄砲町識字学級FW

▽10月4日(水) 宇部市公園整備局との話し合い

▽10月6日(金) 第36回長生炭鉱水没事故問題解決協議会

▽10月11日(水) 福岡県私立学校同推教員の会FW

山口朝鮮初中級学校補助金

カットに対する山口県知事との協議・座談会

▽10月13日(金) 第7回運営委員会

▽10月21日(日) いきいきフォーラム(in阿川)講師派遣

▽10月29日(日) 韓国5・18光州・民族統一学校FW

▽11月4日(土) 「宇部奉祝大会」への宇部市助成金交付問題に関する報告会

▽11月13日(月) 部落解放・人権確立を目指す県民の集い参加

▽11月15日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する山口県庁前座り込み・座談会及び山口県知事・山口県教育庁への要望書提出・記者会見

▽11月17日(金) 第8回運営委員会

▽11月30日(木) 韓国・観音宗との打ち合わせ

▽12月5日(火) 『刻む会たより No.67』発送作業

※太字：詳細は記事にて紹介

長生炭鉱フィールドワークの報告

共同代表 内岡貞雄

〔1〕「長生炭鉱殉難者之碑（一九八二年四月一七日建立）」の問題性」を知った

二〇一七年九月一六日（土）

大阪市立大学教員 4名参加

台風18号の接近のため海岸へ降りる締め切り門はすべて閉じられた。西光寺での学習交流会の後、現地を回る。ある方が「刻む会」は「殉難者之碑」に欠けている三つの事を補うために組織化され発足したのであると言われた。すなわち①犠牲者の名前がない。②多くの朝鮮人がなぜ長生炭鉱で命を失ったのかという経緯も説明もない。③犠牲者に対するひと言の謝罪もない。後日、この方は証言・資料集『アボジは海の底』1・2・3を読み、この事故の犯罪性を感じたという便りをくださった。また、ほかの方はピーヤ（排気・排水筒）の保存や説明板について市当局と交渉を重ねている状況や、「遺骨問題」を国や県、市に取り組ませようとして努力している事など、「刻む会」の活動に敬意を覚えると励ましてくださった。私たちがとってもいい学びの場となった。



西光寺で位牌と対面



長生海岸の堤防で



雨の中を散策（山の神跡）



〔2〕「炭鉱で働かされていた方々へ思いを寄せた」

二〇一七年九月二一日（木）

福岡県筑後ブロック社会人権・同和教育推進協議会 17名参加

当日、「ときわ公園」で落ち合い、皆さんを石炭記念館に案内した。展望台から東見初炭鉱と沖ノ山炭鉱のヤグラ（電車竖坑口）があった場所を確認する。昼食を挟み、西光寺に向かう。本堂で「刻む会」山内さんがすでに位牌を準備していた。183名の犠牲者の位牌と4名（詳細不明）の位牌が並んだ。

その後、「追悼ひろば」を経て現地を歩く。夏の間には伸びた草や雑草、藪を掻き分け朝鮮人寮や旧長生炭鉱駅、石炭巻揚機台座、山の神や坑口の推定場所を回った。感想の中に、「日本人47名の犠牲者に被差別部落の方はおられなかったのでしょうか？」と書かれた質問は、山口県人権・同和教育研究協議会委員長の高林公男さんからもあった。（二〇一〇年十一月FWにて）「刻む会」として究明しなくてはならない課題である。

次は佐世保出身の方の感想である。「私の村には炭坑があって、小4の頃まで炭住に遊びに行っていました。その頃はもう閉山の波が押し寄せていました。炭坑労働者に対する差別は、私の親などには根強く残っていました。佐世保では炭

長生海岸で献花



西光寺で学習した後、追悼ひろば→跡地散策→海岸へ

坑よりダム建設等に大量の朝鮮人労働者が従事していたと、母や叔父から聞かされました。戦争中の話だと思えますが、その人たちがどんな人生を送ったのかと、思うと心が痛みます。今回、改めて戦争の事や長生炭鉱のことを伝えていかななくてはならないと思いました。」

別の方の感想に「今回のF.Wで、炭鉱で働かれていた方々へ思いを寄せることができました」とあったのは元気を貰った気持ちです。

【3】「百聞は一見に如かず」

二〇一七年九月三日(土)

田川市鉄砲町支部
識字学級 5名参加

参加者皆さんは筑豊の炭鉱(ヤマ)をよくご存知だ。特に豊州炭鉱の中元寺川水没事故(一九六〇年九月二〇日深夜発生、前日からの豪雨で川底が陥落し犠牲者67名)の事は皆さん知っていたが、まだ一人も引き揚げられていないという。年長の女性が、「事前にネットや送っていただいた資料で少し勉強してきましたが、実際に現場を歩き、実際にかかわっておられる方からの話し、ピーヤの様子や保存に努められていることなどお聞き出来て本当に良かったです。帰って識字学級で学び合いたいと思います。」と言われた。時間があつたので石炭記念館に案内した。



【4】「自分の故郷の歴史と比べながら考えた」

二〇一七年一月十一日(水)

福岡県私立高等学校人権・同和
教育推進教員の会 35名参加

筆者の甥が勤務する学校の同推教員の方や顔見知りの方も何人かおられ、昔を思い浮かべながら案内した。宇部興産の機械(株)社内に残る沖ノ山電車竖坑巻き上げ櫓(一九六三年完成)が、宇部で現存する唯一のヤグラである。宇部市は、多くの学者が歴史的・文化的価値が大きいと言う「ピーヤ」等の保存にもっと力を入れるべきだと思う。

次に二人の感想を紹介する。

「私の出身地の大牟田も三井三池炭鉱をかかえ、いわゆる光と影の部分を持っていました。宇部興産のように石炭から多角的経営に上手く舵を切っていればと少し考えさせられました。『戦時中』という異常事態の中、東京に事務所を構えた東大卒の技術者兼経営者の異色な会長さん、彼の浅海坑道に対する自信の故に長生炭鉱の再開発が始まったという。長生炭鉱は、当時の鉱山法に違反していたという事実、それらの一つひとつが水没事故につながったという説明が印象に残りました。」(福岡市在住)

「宇部の歴史に限らず、各地に暗い歴史があると思いました。北九州の実家近く

長生炭鉱跡地を巡るフィールドワークをご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。運営員会で検討の上、担当者がご要望に応じて対応します。



沖ノ山電車竖坑巻上げ機

に山田緑地があり、以前、国鉄南小倉駅から引き込み線が旧陸軍山田弾薬庫まで走っていたそうで、線路や盛り土の作業に連行された人々が強制的に労働させられていたと、父から聞かされたことを思い出しました。『負の歴史』と言うのでしよう。(福岡市在住)

多くの皆さんが感想を綴ってくださいましたが、その中に「長生炭鉱に限らず、坑内の危険性は国籍に関係なく皆同じだったと思います。坑内では皆同じ仲間として作業していて、差別はなかったと思います。」という感想も見られた。

朝鮮大学校フィールドワークの報告

共同代表 井上 洋子

音もなく 人知れず 流れていく 自分自身をみながら
 彼は 何を 思っただろう
 海水が 首まで 到った時に
 彼は 誰を 思っただろう
 この場所で 潮は 彼の 涙だ
 この場所で 音は 彼の 泣き叫ぶ声だ
 この場所で 流れ着いた 石は
 彼の 手紙だ

朝鮮大学校 教授 イ ヨン ジン

8月25日、韓国光州市にある朝鮮大学の学生41名、教授3名が「長生炭鉱ひろば」を大型バスで訪れた。時折降りしきる通り雨の中、ひろばで学習し、浜辺で献花を行った。特に犠牲者の多くが10代、20代であったことを知ると、驚きの声があがった。

帰りのバスに乗る際、簡単でいいのと感想をお願いすると、教授は犠牲者の死を悼み、冒頭の詩を書いてくれた。

学生代表たちも「長生炭鉱を記憶します。犠牲者の方々が受けた苦痛の歴史を記憶し、痛みを忘れません。日本に來なければ知る事はできなかつたこの歴史の現状を教えて下さり、ありがとうございます」と、また「長生炭鉱の名前だけ

は聞いたことはありません。あの深い海の底に入っていくときの心境は到底想像することできません。長い歲月、犠牲者の方々を日本の皆さまが守って下さりありがとうございます。これからは一緒に守ります。」等々メモ書きを渡してくれた。

この旅行会社の代表理事は「韓国人たちもできないことを日本の方々が下さり、感謝します。私たちは隣人です」と述べ、韓国と日本との友好のかけはしに「長生」がなっていることを実感した。

近年、韓国から大学生や若い皆さんが長生炭鉱を訪れてくれることが増えてきた。この流れが韓国の漢江(ハンガン)のような大きな流れにつながってくれることを心より願っている。



【一般会計】

	科目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	400,000	34,000	434,000	108.5%	
2	寄付金	1,000,000	191,000	580,148	58.0%	※
3	物販	40,000	11,900	26,700	66.8%	
	証言・資料集	20,000	11,900	26,700	133.5%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	5,000	3,740	3,740	74.8%	電柱設置料
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,445,000	240,640	1,044,588	72.3%	
歳出						
1	事務費	60,000	4,745	42,895	71.5%	
2	広報費	220,000	47,674	95,105	43.2%	たより印刷送料
3	会議費	30,000	0	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	717	3,713	37.1%	電気代
5	活動費	750,000	20,780	95,515	12.7%	
	学習会等	70,000	0	47,195	67.4%	
	追悼集会	500,000	0	0	0.0%	
	その他活動	180,000	20,780	48,320	26.8%	諸派遣費他
6	他団体会費等	40,000	3,000	33,000	82.5%	市民活動センター
7	雑支出	35,000	3,296	14,626	41.8%	
	手数料	25,000	3,296	9,626	38.5%	
	その他	10,000	0	5,000	50.0%	
8	予備費	50,000	0	0	0.0%	
9	特別会計へ繰出	250,000	0	0	0.0%	
	小計	1,445,000	80,212	314,854	21.8%	
10	繰越金	0	160,428	729,734		
	合計	1,445,000	240,640	1,044,588	72.3%	

※ 寄付者（敬称略）

麻野 他郎 浅野 直人 呉 世 憲 古賀 明江 白川 猶子 杉山ユキコ 関谷 陽子
 田崎 敏孝 田中 真理 谷本 育紀 田村 尚子 都 相太 中社 正文 野口 道彦
 福田富美子 堀江 節子 宮田 幸好 山本 晴太 高千帆カトリック教会
 福岡県教育庁南筑後教育事務所人権・同和教育室
 福岡県私立高等学校人権・同和教育推進教員の会
 福岡県田川市鉄砲町識字学級 大阪市立大学 (その他匿名6名)

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,978,116		カーポート設置	250,000	
繰入金	0		繰越金	1,728,116	
合計	1,978,116		合計	1,978,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,695,054		DNA 検体採取鑑定	14,580	
繰入金	0		繰越金	1,653,234	
合計	1,695,054		合計	1,667,814	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

事務局長 小畑太作

【委員会会議開催】

- ① 第7回 10月13日(金) 欠席3名。
- ② 第8回 11月17日(金) 欠席3名。

【追悼ひろば】

- 1. 韓国在住の美術家による絵画設置に
具体化検討。
- 2. 一部への屋根設置を検討と発注。
- 3. パンフレット設置方法の検討。

【長生炭鉱水没事故76周年犠牲者追悼集会】

- 1. 企画検討。

【遺骨等収集】

- 1. 政府交渉のために国会議員に仲介依頼交渉準備。
- 2. データベースを引き続き拡充中。日本人(沖縄)1名のDNA検体を採取解析するも未検出。沖縄に委員派遣を計画。

【学習会等】

- 1. 9/16受入 大阪市立大学教員FW
- 2. 9/21受入 福岡県筑後ブロック社会人権同和推進協議会FW
- 3. 9/30受入 福岡県田川市鉄砲町識字学級FW
- 4. 10/11受入 福岡県私立学校同推教員の会

【証言・関係資料収集発刊】

- 1. 1名の聴き取り検討。

2. 映像と紙資料のデジタル化の作業継続。

3. 韓国で出版されている『角が出た海』の日本語版出版の下訳作業が頓挫。再検討開始。

4. 紙芝居「アボジは海の底」のオリジナル映像化を検討。

5. (仮称)フィールドワークノートとオプシオンについて検討。

【行政交渉】

- 1. 第36回協議会開催 10/6 「宇部市福祉会館」
- (1) ピーヤの説明板設置 市長の議会答弁を受け一部修正か全面改定かを協議。継続。
- (2) ピーヤ等の保存 史跡等については所有者と経費を理由に市側は指定に難色。護岸工事は国際親善におけるデメリットを認めた。教育的観点も含めて再検討を要請。継続。
- (3) 追悼集会への協力 出席と挨拶について改めて検討を市側に要請。市長は名義後援を「バランス」を理由に固辞。
- (4) 市民への教育 石炭記念館を所管の公園整備局とも協議。継続。中学校副読本への記載を確認。
- (5) 遺骨等の収集と返還 時間が無く継続。
- (6) 追悼碑への協力 時間が無く継続。
- 2. 県議会での知事答弁を受け、申し入れ等を検討。

3. 「市議会議員との懇談会」の次回開催について検討。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

- 1. 朝鮮学校を支援する山口県ネットワイクの加盟団体として、県知事と下関市長への要請行動に参加。
- 2. 山口県知事と教育長への再質問書案を作成。
- 3. ネットワイクのHPと会計を引き続き担当。

【他団体との連携】

- 1. 大韓民国国慶日 10/3に委員派遣。
- 2. 無窮花堂秋季追悼式 10/9に委員派遣。
- 3. いきいきフォーラム 10/20に委員派遣報告。
- 4. 第8回部落解放・人権確立をめざす県民の集い 11/13に委員派遣。
- 5. 宇部市奉祝大会助成金問題について他団体と協働。



5・18光州（韓国全羅南道）民族統一学校
フィールドワーク

共同代表 内岡貞雄
二〇一七年一〇月二十九日（日）
35名参加

5・18光州民族統一学校が長生炭鉱追悼ひろばを訪問して、鎮魂の舞いとチェサをしてくださいました。また長生海岸では犠牲者への鎮魂の儀式を行ってくださいました。次は大学生の感想です。「大田（テジョン）大学（忠清南道）に戻ったら、在日問題や長生炭鉱水没事故をもっと勉強して、みんなと話し合いをしながら知識を深めたいと思います。」（大田大学生）



海岸で鎮魂の儀式を行っているところ

追悼ひろばでチェサをする団長

書籍のご案内

事務局で取り扱っている書籍のご案内です。ご希望の方は、事務局までご連絡ください！



絶賛！好評発売中！
頒布価格 1冊 300円
2冊セットで 500円
3冊セットで 700円



まだお持ちでない方！
ぜひお買い求め下さい！

韓国・真相糾明委員会発刊書籍

← 『委員会活動結果報告書』（日本語版）
ご希望の方は、カンパ 300円（送料込）でお送りします。



『日本の長生炭鉱水没事故に関する報告書』 →
ご希望の方はカンパ 1000円でお送りします。



たより同封物

追悼集会チラシ
振替用紙

今後の予定

- 1月20日 長生炭鉱水没事故76周年犠牲者追悼集会
- 3月17、18日 強制動員真相究明ネットワーク主催 全国集会 in 沖縄
- 4月 春のフィールドワーク
- 5月 定期総会